

**基本目標 「ともに学び、育ち、創る」**  
～ ゆたかな新潟をめざして～

**基本方針 1** 学習成果を生かす循環型生涯学習の推進

**基本方針 2** 現代的課題を中心とした学習の重点化

**基本方針 3** 学・社・民の融合による人づくり、地域づくり

**基本方針 4** 地域づくりを担う生涯学習支援体制の充実

計画の推進

1. 「学び」の環境整備
2. 「学び」の支援体制

## **基本方針 1** 学習成果を生かす循環型生涯学習の推進

市民が「生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学習することができ、その学習成果が適切に評価される」ことが大切である。

これまでは、個人の学習について「何をどれだけ学習したか」よりも、「いつ、どこで学習したか」を重視する傾向があった。

そのため、個人の学習成果や知識・技能・経験などが適切に評価されていないことや、学習することに対する喜びが奪われていることが生じていた。

学習することは、本来的に喜びであるから、市民にとっては学習成果が社会貢献に生かされ、認められることで自己の成長や資質向上につながり学習意欲が生まれる。

中央教育審議会の答申（平成 20（2008）年 2 月 19 日）では、「知の循環型社会」の構築を提言している。持続可能な社会では、市民一人一人が社会で責任を果たし、社会全体の活力を持続させようとする「循環型社会」への転換が必要である。

したがって、市民が自らのニーズに基づき、学習成果を社会貢献に生かし、社会全体の持続的な教育力の向上に貢献する「循環型生涯学習」を推進することが求められる。

学習成果の活用は、職業生活や社会における多様な活動において行われる。

教育力向上の観点からすれば、市民が学習成果を地域社会における多種多様な教育活動に生かすことが期待される。たとえば、様々なボランティア活動である。

また、今後は特に、アクティブシニアに協力を求め、その力を生かす施策を検討し、実施することが必要である。

## **基本方針 2** 現代的課題を中心とした学習の重点化

現代的課題には、科学技術の高度化、情報化、少子高齢化、経済的な格差、非正規雇用の増加、公的サービスの縮減、地域づくり、地方分権などがある。

社会の変化や要請に市民一人一人が対応することができるようにするためには、市民のニーズに応じて学習を継続することができる教育環境を整備し、市民一人一人がこのような社会を生き抜いていくための総合的な力量を身につけることを支援することが必要になっている。

次代を担う子どもたちに対して必要な「生きる力」は、学校教育の理念となっている。

しかしながら、これは学校教育のみではなく、実社会における多様な体験などと相まって育まれ伸長していくものである。

このため、子どもたちが学校内外で、その発達段階に応じて「生きる力」を育むことができるような環境づくりが求められる。

変化の激しい社会においては、市民が「自律・自立した一人の人間」として力強く生きていくための総合的な力量を身につけるために、生涯にわたって学習を継続できるようにすることが必要である。

そのためには、ライフステージ<sup>⑤</sup>に合った学習課題を整理し、その効果的な支援が求められる。

「市民意識調査」によると、市民の学習活動は、個人の教養や健康に重点がある。

しかしながら、現代的課題からするならば、教育行政としては、地域づくりや家庭教育、国際社会や情報社会に対応した学習活動を重点にして展開していくことが求められる。

「個人の要望」と「社会の要請」に応じて、市民が必要とする力量を身につける学習機会を提供し、市民の学習を円滑に行っていくことが必要である。

### **基本方針 3** 学・社・民の融合<sup>⑥</sup>による人づくり、地域づくり

本市は、「新潟市教育ビジョン」を策定し、政令市新潟の教育の方向と在り方を明確にした。そのなかで「学・社・民の融合<sup>⑥</sup>による教育を進める」とうたっている。

これは、人づくり、地域づくり、学校づくりのために、学校教育、社会教育のみならず、家庭、地域住民、行政、企業、地域の諸団体が協働<sup>⑦</sup>することを通じて実現することができる。

「市民意識調査」によると、市民の社会活動への参加経験は 57%、参加意向は 71%である。「学校支援や青少年育成に関わる活動（セーフティ・スタッフ<sup>⑧</sup>、学校支援ボランティア、ふれあいスクールボランティアなど）」に限定してみると、参加経験は 17%、参加意向は 14%である。

地域と学校パートナーシップ事業<sup>⑨</sup>や地域教育コーディネーター<sup>⑩</sup>について、いまだに市民に周知されていないという現状にある。市民意識、公民意識の啓発活動の事業が求めら

れる。

また、生涯学習活動を中心となって行う市民の育成や活躍する人材の発掘、人と人との連携づくり、ネットワークづくりなどの事業も必要である。

これらによって、政令市新潟が目指す市民の姿「生涯を通じて学び育つ、人間力あふれる新潟市民」が実現する一歩となる。

#### **基本方針 4** 地域づくりを担う生涯学習支援体制の充実

社会の変化に対応するために必要な学習や公共の観点から求められる学習については、市民が必ずしも積極的に学習しようとしなかった場合や、学習しようと思っても学習機会が十分でない場合が考えられる。

そのような課題については、教育行政が積極的に学習機会を提供したり、市民の関心を呼び起こすための啓発活動を行うことが重要である。

このため、公民館、図書館、生涯学習センターなどの社会教育施設や学校施設の果たす役割は大きいものがある。

各地域における教育力向上の必要が高まるなか、社会教育や学校教育を実施する各生涯学習施設の充実と相互の連携を図ることが求められる。

各生涯学習施設は、これまで施設固有の固定的な教育サービスを提供する取組が主なものであった。今後は地域づくりを担う役割を強化することが必要である。

公民館がこれまで実施してきた「地域学」は、学習成果においてよい評価を得ているので、今後はいっそう充実した優れた取組にしたい。

また、地域の諸団体への活動支援を実施することで、地域づくりに貢献するネットワークを築くために生涯学習施設の内実をきめ細やかなものにすることが期待される。

さらに、サービスや利用環境の公平性と受益者負担の観点から、公民館などの生涯学習施設の有料化の実施についても検討することが必要である。